

平成 21 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493300022	事業の開始年月日	h18年 5 月 1 日		
		指 定 年 月 日	h18年 5 月 1 日		
法人名	株式会社 ウイズネット				
事業所名	グループホームみんなの家 横浜三保 2				
所在地	(〒226-0015) 神奈川県横浜市緑区三保町 9 9 4				
サービス種別 定 員 等	☐ 小規模多機能型居宅介護		登録定員	名	
			通い定員	名	
			宿泊定員	名	
	☒ 認知症対応型共同生活介護		定員 計	18	名
			ユニット数	2	ユニット
自己評価作成日	平成22年2月16日	評価結果 市町村受理日			

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1493300022&SCD=320
----------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

日々の利用者とのコミュニケーションにて個々の思いを汲み取り、月1回の会議にて情報の共有が出来ている。また利用者・職員共に役割を持って生活している。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鵜沼橋1-2-4 ケ`双ファースト 3階		
訪問調査日	平成22年3月18日	評価機関 評価決定日	平成22年5月12日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

ホームはJR横浜線「中山」駅よりバスにて「坂下」下車徒歩4分程の所に開設されて4年目を迎えています。施設の周辺は花木等の植栽が栽培されている農地が広がり、また小高い丘等に囲まれた自然と緑に包まれた環境にあります。運営母体は、さいたま市に本社を持つ(株)ウイズネットであり、埼玉、東京、神奈川圏内に60余のグループホームを運営しています。法人は平成10年に設立され高齢化社会を福祉、看護、医療のネットワークを活用して、広く介護サービスを提供しています。法人理念である「必要な人に、必要なサービスを」を受け、ホームの運営理念は「地域に根差した、一人ひとりが大切にされるホーム」を目指しています。

1. 優れている点として、法人本部の福祉、看護、医療の面など、グループホームの運営に関するバックアップ体制が充実している事が挙げられます。法人のバックアップ体制の中には介護計画の作成マニュアル等の整備を始め、介護サービス提供現場における疑問点等に対する指導等介護作業の標準化が図られており、職員の人事異動の際にも、短期間にて対応が出来る体制が出来ています。

2. 工夫している点として、ホームにおける食事作りについては、食材の調達と調理作業は、本部に所属する職員にて実施されている事から、ホームの介護職員は利用者の支援に専念できる体制が出来ており、安定したサービスが提供されています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームみんなの家 横浜三保 2
ユニット名	1U

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
		○	3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
		○	2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
		○	2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
		○	2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
		○	2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	フローア―理念を作り日々、話し合い会議時等も意識して取り組んでいます。	法人の理念を受けて、ホームの運営理念として「地域に根差した、一人ひとりが大切にされるホーム」を目指して取り組んでいます。また職員の行動指針としては1階は「明るく、楽しく、仲良く」とし、2階は「笑顔」が重点事項としています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に入り回覧板を届けたり地域行事（運動会）への参加をしています。	開設当初より自治会に入っており、地域の行事である運動会には利用者も参加しています。ホームの大家さんが自治会長でもあり、地域に関する助言を頂いています。近隣の農家とは懇意にしており、散歩時の挨拶や野菜の差し入れを頂いています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	子供１１０番の受入れをしています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を実施し、活動状況、計画、ご意見等を頂き区へ報告しています。	運営推進会議は、今年度4回されていますが、4回の内出席できたのは1回、民生委員1名のみで、家族会に近い推進会議になっています。平成21年11月には管理者の交代による自己紹介がされています。	運営推進会議は「地域との連携・交流を図り、サービスの質の確保を図る」との目的が実現されるよう、地域の委員や行政がなるべく出席できる推進会議となるよう検討する事が期待されます。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域包括支援センター・福祉科へ連絡をとり協力を得ながらケアサービスの向上に努めています。	行政（区）とはサービスの提供に関する連絡や助言を求め情報交換をしています。外出時における車椅子の借用等地域包括支援センターとは常に連絡を取って、サービスの向上に配慮しています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束ゼロに向けて研修・会議などで話し合いをもっています。 玄関は防止上施錠を行なっていますが、職員付添いの元自由に出入りしています。	身体拘束に関しマニュアルを使用した研修を実施しています。玄関は安全に配慮して施錠していますが、利用者が外出を望む時は職員が付き添い、自由に出入りしています。居室にはナースコールを使った呼び出しを活用し、安全な介護に努めています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	理念に基づきあってはならない事と、職員一同、周知徹底し防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職員は研修にて学び機会をもち、必要な方に対しては入居時説明をしています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時には個々の立場に立ち時間をかけて丁寧に説明しています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご意見箱を玄関に設置し毎月ご意見・ご要望用紙を送らせていただいています。	玄関には意見箱と記入用紙が置かれています。投函された意見・要望は直接法人の代表へ直行します。その他、ご家族等の声は日頃の面会時、家族会、外出時等の機会に直接把握し、反映しています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	GH会議、フロア会議を行ない職員同士、意見を出し合い業務に反映しています。	職員が全員参加するグループホーム会議やフロア毎の会議にて職員同士が意見を出し合い、業務の改善に繋がっています。直近の問題では北海道におけるグループホームの火災事例を取り上げ、火災の未然防止の取組みに反映しています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員1人1人に委員会等の役割がある為、責任、向上心を持って取り組める環境作りを心掛けています。休憩時間を交代で取るなど働きやすい環境に努めています		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の回覧板にアピアントや委員会からの研修案内があり誰でも受けられるようになっています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	会社内ではエリア会議や委員会等で事業所との交流があり地域の同業者とは交流がもてるようGH連絡会に加入しています。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に本人と話しをする機会を持ち不安を取り除けるよう努めています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○ 初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に家族と話しをする機会を家族の思いを理解するように努めています。		
17		○ 初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人と家族の意向を聞き職員で話し合い必要なサービスの提供を努めています。		
18		○ 本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	残存機能を活かし掃除、食器洗いを一緒にに行い、利用者から学んだり、考えたりしながら日常に努めています。		
19		○ 本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	レクや行事を共に楽しむ機会が持てるよう働きかけ、外出や外泊等に協力していただいています。		
20	8	○ 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	手紙のやり取りや電話の利用、馴染みの場所への外出等の支援をしています。	毎月ホームと家族を結ぶ連絡手段として「一言通信」を発行し、個々の生活模様、医者の診断結果等を報告し、馴染みの方々との関係が途切れないよう情報を提供し支援しています。また、利用者から、直接電話や手紙による希望が出た場合は個別に支援していま	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士が食器洗いや掃除等出来る事を協力し合い楽しく生活していただけるよう努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	年賀状など送っています。毎月、行事のお誘いや情報誌などを送っています。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の会話を聞き取り意向や希望の把握に努めています。	日々の支援の中で、意識的に声かけし、会話の中から利用者の思いや要望を聴きだしています。また、家族から利用者に関わる昔話を聴きだす努力をしています。居室担当が記載する申し送りノートやフロアー日誌にて、職員間で共有化しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に生活歴等本人、家族からの情報収集し、いつでも確認出来るようになっており把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	月1回フロア会議を行ない1人ひとりを把握し残存機能を維持できるように努めています。 食事・排泄・バイタルチェック等毎日実施しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者、家族の意向を聞き取り入れ職員で話し合い介護計画を作成しています。利用者主体の生活ができるように計画を立てています。	介護計画書の作成に当たっては、利用者や家族の意向を居室担当やケアマネージャーが聴き取り、書記担当を決め、出席者全員で目標を設定しています。モニタリングについても法人独自の手順書が作成されており、これが活用されています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日常の様子、会話等を記録しケアプランに沿った記録をしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	重度の利用者等医療機関と連携を取り、家族の要望を聞き必要なサービスの提供をしています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	レク、行事でボランティアに来て頂いたり消防訓練を実施しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	往診医とは密に連携を取り24時間いつでも連絡が取れ相談できる様になっています。	入居中は本人、家族の了解を得て協力医療機関の往診を受けています。内科・歯科は月2回、歯科衛生士・看護師の訪問は週1回を実施しています。希望のかかりつけ医に受診している利用者もいます。受診記録やフロア日誌で共有し家族にも報告しています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	定期的に来ていただいております。気軽に相談でき助言をいただいております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院関係者と情報交換に努め退院に備えています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化の指針に則り職員、家族医療機関で話し合い連携を取っています。	入居時に「重度化した場合の対応にかかる指針」を説明し、本人や家族の意向を確認しています。またオリジナルの「看取り介護の定義」を作成し出来る限り対応する方針です。協力医療機関とも連携を図り支援に取り組んでいます。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	すぐに対応出来るよう目の届く場所に緊急時の対応の仕方を貼り出しています。救命訓練実施済みです。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、利用者と一緒に避難訓練を行っています。防火点検（自主点検）を行っています。	防災・避難訓練は、年2回消防署の指導を得て実施しています。2ヶ月に1回テーマを決め事業所独自の訓練も行っています。また防火点検チェックリストを作成し1日9回時間を決めて7カ所の点検をしています。	地域との連携、協力体制の構築と食料、飲料水等備蓄品の確保充実が期待されます。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	トイレ時の声かけに注意し、個人情報 は鍵のかかるロッカーに保管しています。	「羞恥心に関することは人前や大きな 声では言わない」を基本にしており、 管理者は日々の業務の中でスタッフが 言動に配慮しているかを確認していま す。個人記録や薬品は施錠できるロッ カーに保管され職員は入職時に守秘義 務に関する誓約書を交わしています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	毎週土曜日の移動パンや飲み物など選ぶ喜びを体験していただいています。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	居室で本を読まれたり就寝起床時間は、本人のペースに合わせています。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	利用者の希望に合わせ、ご家族了承のもと理美容へ行き外出時、お化粧品もしています。			
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	職員も同じものを一緒に食べ盛り付けや片付けを一緒に行なっています。 おやつ・おかず作りを職員共に行っています。	本社の栄養士がメニューを作り、外部の食材業者が材料を納入しています。 食事作りは本社所属の専門員が配置されていますが夕食時には全員の味噌汁を作る利用者もいます。また利用者の希望をかなえるため月1回出前を利用することもあります。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事形態、水分の種類を工夫し、個々の状態に合わせ無理のないよう摂取出来るように支援し記録へ残しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを徹底し行なっています。また月4回歯科衛生士が口腔ケアを行なっています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンを把握しプライドを傷つけない声かけ誘導を行なっています。排泄のサインを感じ取れるようにしています。	完全に自立の利用者は約半数です。その他の方々は何らかの介護が必要です。利用者個々に排泄パターン表を作成し、排泄後は時間・量を記録し、誘導の参考にしています。常時利用者のサインに注意し、失禁しない様トイレへのタイミングに注意しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々に合わせ水分補給、運動、腹部マッサージを行なっています。主治医から下剤処方を行なっています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴状況に応じて声かけ、時間などは個々の好きな時間に入れるようにしています。希望者がいれば自由にいただいています。	入浴時間は通常9時から17時としていますが、希望により遅番勤務の20時までに入浴できます。入浴の状況はチェック表に記録し管理しています。入浴が嫌いな方にはゆず湯等入浴を促す方法に配慮しています。自室で体を拭いている方もいます。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼夜逆転に配慮しながら利用者の状況、希望に応じて対応しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	誤薬、飲み忘れを防ぐ為職員同士確認をし服薬での症状変化は医療機関等つなげている 家族への報告を実施しています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	掃除、洗濯、食器拭きなど個々の能力に応じた役割の支援や趣味が楽しめる時間を作っています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ほぼ毎日外に出て、気温を感じたり草花を見たりし五感に働きかけています。個々の状態に合わせ個別外出を行っています。	ホームは自然と緑に囲まれて、散策には絶好の環境です。外出記録簿を作成し、ほぼ毎日外出し、自然を楽しんでいます。足腰の丈夫な利用者はビデオを借りて、バスにて、市街地まで、弱い方はタクシーにて外出する事も楽しんでいます。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個々の能力に応じて所持金の使用機会を設けています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	状態、能力に応じてその都度対応しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしています。	季節感や家庭的な雰囲気を出し居心地良く安心して過ごせるよう工夫しています。	共用の居間は南向きに配置されており、窓は大きく採光は十分であり、居心地良く過ごせるよう造られています。車椅子の方でも居間から庭に出られる様、スロープが作られています。職員の発案が活かされた一例です。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	本棚を設置しゆったり過ごせるスペースを作っています。庭に長椅子を置いて息抜きが出来る環境を作っています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	個人の使い慣れた家具などを置き居心地良く安心してその人らしく暮らせる居室にしています。	転倒し、足腰の悪い方は、ベッドを撤去し、畳に布団の生活の方がいます。全ての居室にはナースコールが設置され、夜間でも安心して職員に連絡が取れる様配慮しています。個人の使い慣れた家具を居室に配置し、心地よく過ごしています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々の状態に合わせた自立支援の検討をカンファレンスを開き行なっています。混乱や失敗が無いよう配慮しています。		

事業所名	グループホームみんなの家 横浜三保 2
ユニット名	2u

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
		○	3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
		○	2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
		○	2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
		○	2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
		○	2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	フローア理念を作り日々、話し合い会議時等も意識して取り組んでいます。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に入り回覧板を届けたり地域行事（運動会）への参加をしています。近隣の農家から野菜を分けて頂いただく・それを利用者様と一緒におかずを作り渡しています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	子供１１０番の受入れをしています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を実施し、活動状況、計画、ご意見等を頂き区へ報告しています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域包括支援センター・福祉科へ連絡をとり協力を得ながらケアサービスの向上に努めています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束ゼロに向けて研修・会議などで話し合いをもっています。 玄関は防止上施錠を行なっていますが、職員付添いの元自由に出入りしています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	理念に基づきあってはならない事と、職員一同、周知徹底し防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職員は研修にて学び機会をもち、必要な方に対しては入居時説明をしています。掲示板や研修などで学んでいます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時には個々の立場に立ち時間をかけて丁寧に説明しています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご意見箱を玄関に設置し毎月ご意見ご要望用紙を送らせていただいています。利用者の要望など傾聴しその都度ミーティング等で検討し反映に努めています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	GH会議、フロア会議を行ない職員同士、意見を出し合い業務に反映しています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員1人1人に委員会等の役割がある為、責任、向上心を持って取り組める環境作りを心掛けています。 休憩時間を交代で取るなど働きやすい環境に努めています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の回覧板にアピアントや委員会からの研修案内があり誰でも受けられるようになっています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	会社内ではエリア会議や委員会等で事業所との交流があり地域の同業者とは交流がもてるようGH連絡会に加入しています。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に本人と話しをする機会を持ち不安を取り除けるよう努めています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○ 初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に家族と話しをする機会を家族の思いを理解するように努めています。		
17		○ 初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人と家族の意向を聞き職員で話し合い必要なサービスの提供を努めています。		
18		○ 本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	残存機能を活かし掃除、食器洗いを一緒にいき、利用者から学んだり、考えたりしながら日常に努めています。		
19		○ 本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	レクや行事を共に楽しむ機会が持てるよう働きかけ、外出や外泊等に協力していただいています。		
20	8	○ 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	手紙のやり取りや電話の利用、馴染みの場所への外出等の支援をしています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士が食器洗いや掃除等出来る事を協力し合い楽しく生活していただけるよう努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	年賀状など送っています。毎月、行事のお誘いや情報誌などを送っています。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の会話を聞き取り意向や希望の把握に努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に生活歴等本人、家族からの情報収集し、いつでも確認出来るようになっており把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	月1回フロア会議を行ない1人ひとりを把握し残存機能を維持できるように努めています。 食事・排泄・バイタルチェック等毎日実施しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者、家族の意向を聞き取り入れ職員で話し合い介護計画を作成しています。 利用者主体の生活ができるように計画を立てています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日常の様子、会話等を記録しケアプランに沿った記録をしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	重度の利用者等医療機関と連携を取り、家族の要望を聞き必要なサービスの提供をしています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	レク、行事でボランティアに来て頂いたり消防訓練を実施しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	往診医とは密に連携を取り24時間いつでも連絡が取れ相談できるようになっています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	定期的に来ていただいております。気軽に相談でき助言をいただいております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院関係者と情報交換に努め退院に備える		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化の指針に則り職員、家族医療機関で話し合い連携を取っています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	すぐに対応出来るよう目の届く場所に緊急時の対応の仕方を貼り出しています。救命訓練実施済みです。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、利用者と一緒に避難訓練を行っています。防火点検（自主点検）を行っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	トイレ時の声かけに注意し、個人情報 は鍵のかかるロッカーに保管しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	毎週土曜日の移動パンや飲み物など選ぶ喜びを体験していただいています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	居室で本を読まれたり就寝起床時間は、本人のペースに合わせています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	利用者の希望に合わせ、ご家族了承のもと理美容へ行き外出時、お化粧品もしています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	職員も同じものを一緒に食べ盛り付けや片付けを一緒に行なっています。 おやつ・おかず作りを職員共に行っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○ 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事形態、水分の種類を工夫し、個々の状態に合わせ無理のないよう摂取出来るように支援し記録へ残しています。		
42		○ 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを徹底し行なっています。また月4回歯科衛生士が口腔ケアを行なっています。		
43	16	○ 排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンを把握しブライドを傷つけない声かけ誘導を行なっています。排泄のサインを感じ取れるようにしています。		
44		○ 便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々に合わせ水分補給、運動、腹部マッサージを行なっています。主治医から下剤処方を行なっています。		
45	17	○ 入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴状況に応じて声かけ、時間などは個々の好きな時間に入れるようにしています。希望者がいれば自由に入らせていただいています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼夜逆転に配慮しながら利用者の状況、希望に応じて対応しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	誤薬、飲み忘れを防ぐ為職員同士確認をし服薬での症状変化は医療機関等つなげています。 家族への報告を実施しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	掃除、洗濯、食器拭きなど個々の能力に応じた役割の支援や趣味が楽しめる時間を作っています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ほぼ毎日外に出て、気温を感じたり草花を見たりし五感に働きかけています。個々の状態に合わせ個別外出を行っています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個々の能力に応じて所持金の使用機会を設けています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	状態、能力に応じてその都度対応しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感や家庭的な雰囲気を出し居心地良く安心して過ごせるよう工夫している		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	本棚を設置しゆったり過ごせるスペースを作っています。庭に長椅子を置いて息抜きが出来る環境を作っています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	個人の使い慣れた家具などを置き居心地良く安心してその人らしく暮らせる居室にしています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々の状態に合わせた自立支援の検討をカンファレンスを開き行なっています。混乱や失敗が無いよう配慮しています。		

目標達成計画

作成日：平成 22年 6 月 5 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1		運営推進会議における地域の参加が乏しい	自治会長、民生委員の参加をして頂き 地域の一員になる	挨拶に行ったので7月の運営推進会議には、是非 参加して頂く様にアプローチしている。	2ヶ月
2		地域におけるボランティア活動及び貢献	町内を綺麗にする為にゴミを集めたり、町内の 役にたつ	老人会の方々との交流をもち一緒にゴミを集めたり ボランティア活動や 町内の消防訓練にもすすんで参加をしていく	1ヶ月
3		災害時に対して備蓄 災害時に対しての地域の協力	万が一に対して水、食料を確保する 避難に対して地域住民の協力して頂く	少しずつでは、あるが水の備蓄をしている。 隣近所との交流により助けあいをもって行きたいと 思っています。	2ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。